

高規格道路 鹿児島東西幹線道路

鹿児島東西道路



事業の概要

事業の目的

鹿児島東西幹線道路は、九州縦貫自動車道や南九州西回り自動車道等との結節点である鹿児島ICと鹿児島市中心市街地および重要港湾である鹿児島港を結ぶ高規格道路であり、鹿児島ICから鹿児島市街地へのアクセス機能を強化するとともに、都市交通の円滑化と交通混雑の緩和を目的とした道路です。

整備効果

①広域ネットワークの形成

高速道路(九州縦貫自動車道・南九州西回り自動車道)及び指宿スカイラインと一体となって、広域ネットワークを形成します。

②交通混雑の緩和

鹿児島東西道路は、慢性的な交通渋滞を引き起こしている武岡トンネルや、中心市街地部の東西方向を走行する交通を分散化し、都市交通の円滑化を図ります。

【鹿児島都市圏の広域道路網】



これまでの事業の経緯

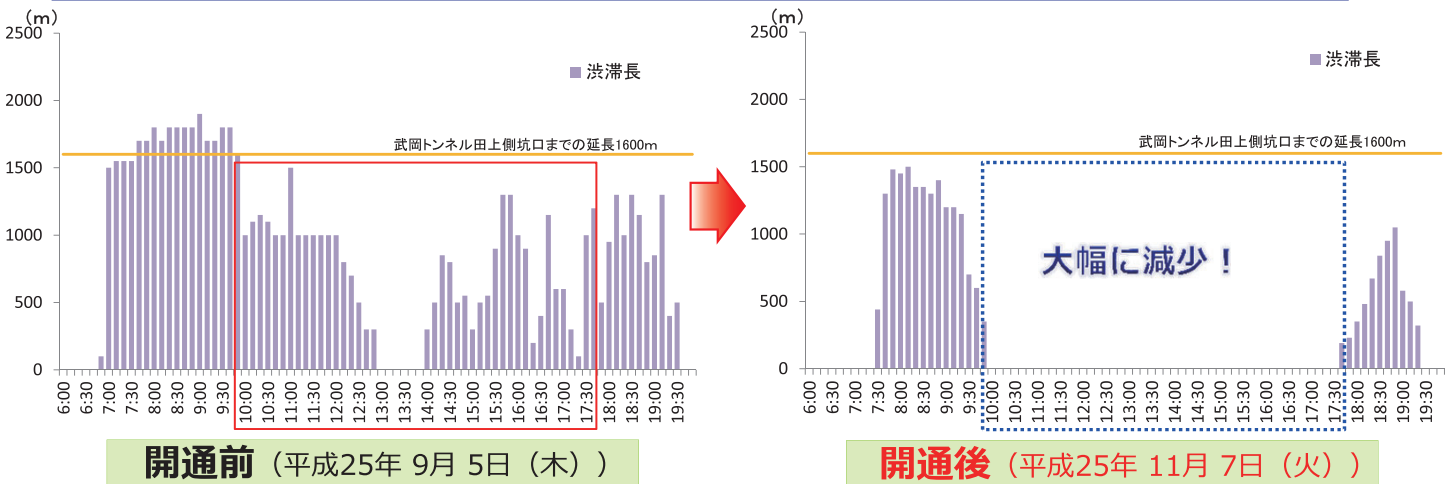
事業の経緯

平成 6年12月16日	地域高規格道路の候補路線・計画路線として約6km指定
平成 7年 8月23日	調査区間として約 6km指定
平成10年12月18日	整備区間として約 3km指定
平成12年11月28日	都市計画決定
平成13年度	事業化（約3.4km）「事業名：鹿児島東西道路」
平成17年 3月 1日	都市計画変更
平成17年度	工事着手
平成22年 2月12日	都市計画変更
平成22年 3月19日	鹿児島IC～田上IC間のランプ（0.4km）を部分暫定供用
平成25年 9月29日	田上IC～建部IC間（1.8km）を暫定供用（新武岡トンネル開通）
平成25年12月20日	都市計画変更 鹿児島IC～田上IC間のランプ（0.4km）を完成供用

これまでの整備効果

平成25年9月29日に田上IC～建部IC間を開通したことにより、建部神社前交差点では、慢性的な渋滞から、朝夕のピーク時のみになり**渋滞の発生頻度が大幅に減少**。

建部神社前交差点（武岡トンネル）の渋滞状況（下り線：鹿児島市内方向）



※「渋滞長」とは、1回の青信号で捌ききれずに残った車列の長さです。

残された課題

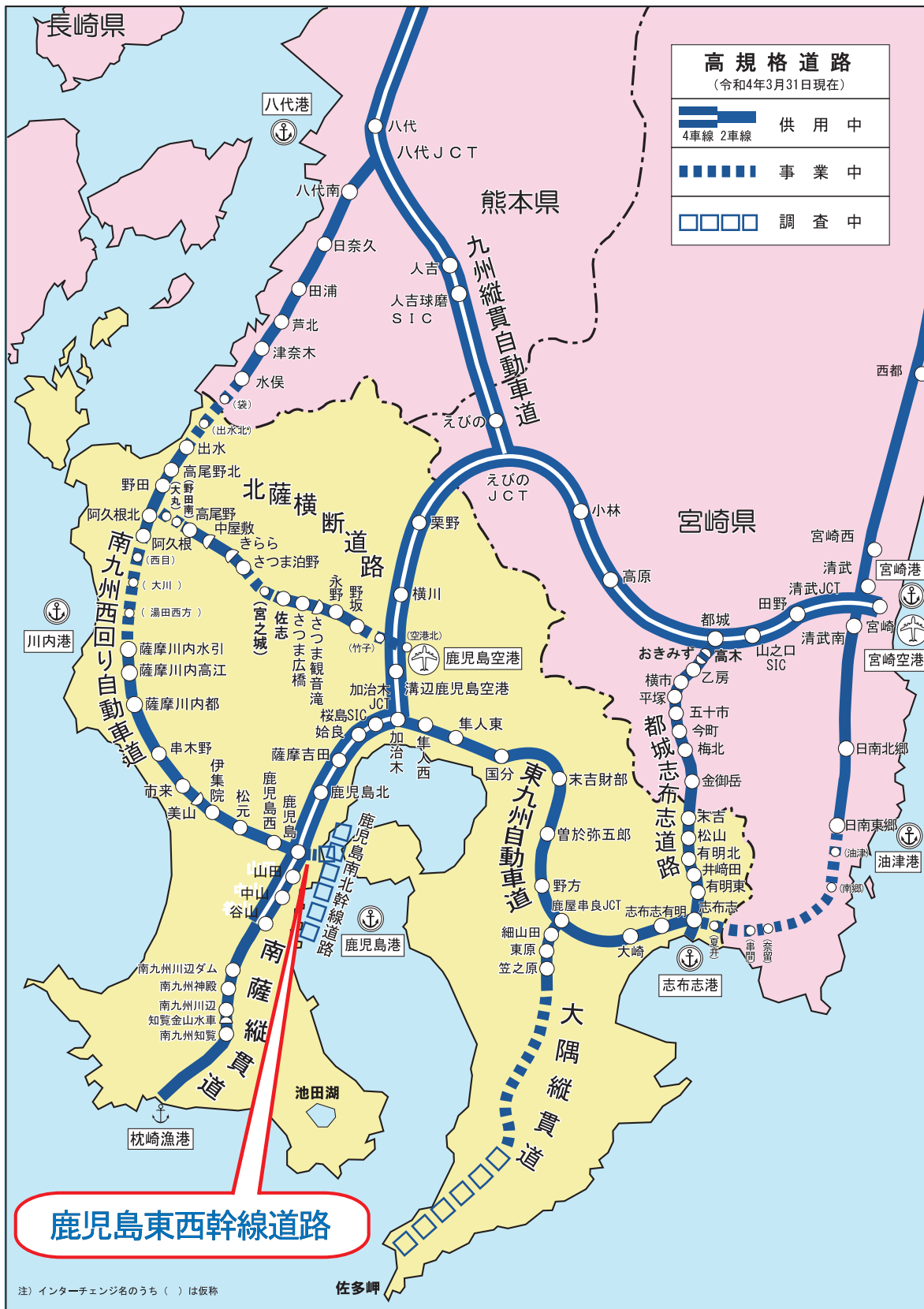
建部神社前交差点より東側の各交差点においては、東西方向のみならず南北方向においても、**引き続き渋滞が残っています**。

曙陸橋の渋滞状況



武町交差点北側の渋滞状況





鹿児島東西幹線道路

注) インターチェンジ名のうち () は仮称

事務所案内 (パンフレットについての問い合わせ先)

**国土交通省 九州地方整備局
鹿児島国道事務所**

〒892-0812 鹿児島市浜町2番5号
TEL (099) 216-3111 (代表) FAX (099) 216-3861

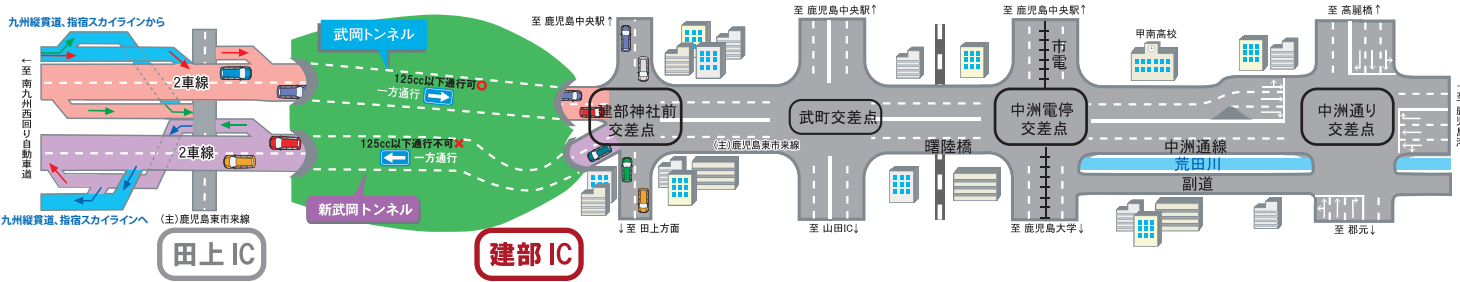
<https://www.qsr.mlit.go.jp/kakoku/>
E-mail : qsr-kakoku-keikaku01@mlit.go.jp



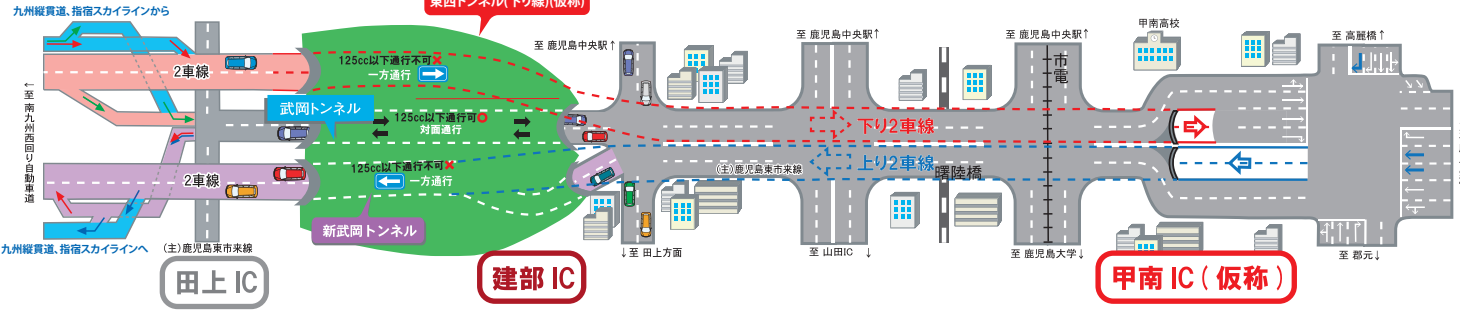
整備の概要

既設街路下の地下空間を活用しながら、甲南から田上向けのトンネル(上り、新武岡トンネルに合流する)と田上から甲南向けのトンネル(下り)を整備してまいります。

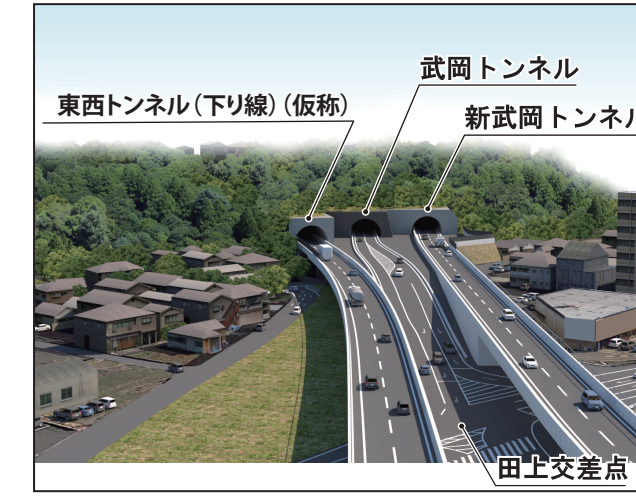
現況 (H25.12 開通後)



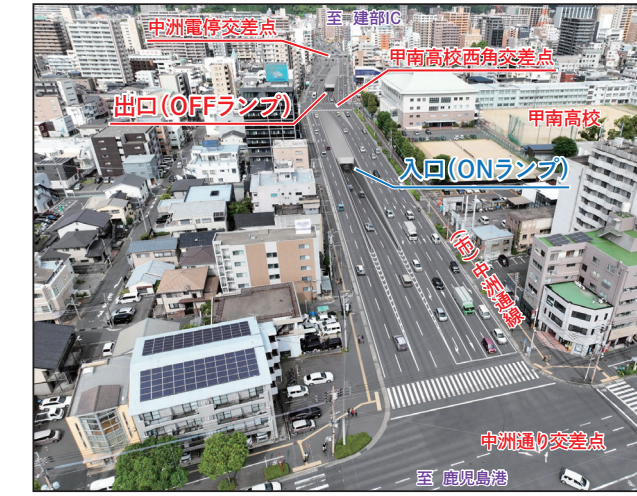
全線完成時



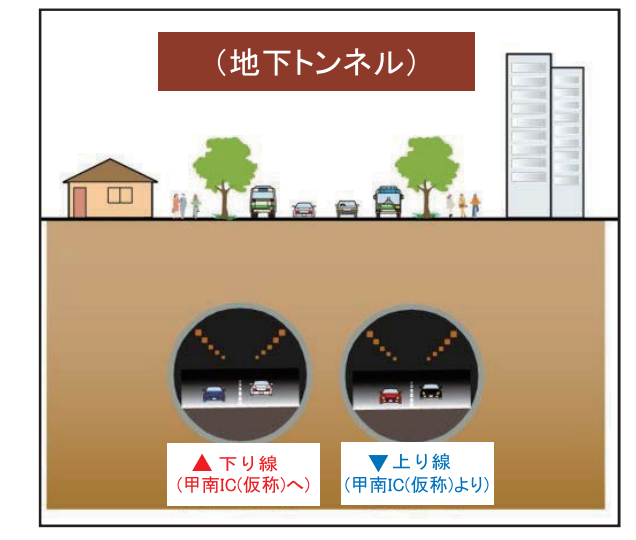
《田上IC部》



《甲南IC(仮称)部》



《建設部IC～甲南IC(仮称)区間》



《荒田川の暗渠化区間》

